

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
25	東京純心大学	看護とコミュニケーション	天野 雅美 看護学部 教授	1	後期		8		東京純心大学	5

#### 【到達目標】

1. コミュニケーションの目的を想起できる。
2. 接近的コミュニケーションの原理を説明できる。
3. 効果的なコミュニケーションの技術を説明できる。
4. コミュニケーション障害がある人への対応を考えることができる。
5. ロールプレイングにより自己の特徴を述べることができる。

#### 【授業の概要】

本科目は、コミュニケーション論や基本援助技術で学修した基本的知識に基づき、看護実践に必要なコミュニケーションの理論と方法について学ぶ。また、特に、対象－看護者関係に焦点を当て、信頼関係を構築するための基本的な内容を学び、さらに援助的コミュニケーションについて学修する。看護者が用いる質問の方法や誠実な対応、共感的理解に焦点を当て、沈黙の意味やコミュニケーションの時間帯などを学ぶ。看護者に求められるコミュニケーションは、相互作用であること、挨拶や身だしなみなどの基本的態度が求められること、コミュニケーションの成立から関係性の構築が必要であること、コミュニケーションに障害を持つ患者には様々な状態があり、それらの障がいに応じてコミュニケーションの対応の特徴があること、などを含めて一連の内容がコミュニケーションスキルに繋がることを学修する。ロールプレイングを実施し、その体験を逐語録にして、自分のコミュニケーションの過程を振り返り、よりよいコミュニケーションを考える。

#### 【授業内容】

1. 【ガイダンス】
  1. コミュニケーションの目的の想起
    - 1) 看護や医療におけるコミュニケーションの構造・プロセス
    - 2) 対人関係プロセスとしての看護
  2. ロールプレイング
2. 1. 看護におけるケアリングとコミュニケーション
  - 1) ケアリングの概念と今日的意味
  2. ロールプレイング
3. 1. 関係構築のためのコミュニケーション\_\_①
  - 1) 接近的コミュニケーションの原理
  - 2) 接近的行動の前提となる基本的な態度
  - 3) 接近的行動と非接近的行動
  - 4) 接近的コミュニケーションの成立
  2. ロールプレイング
4. 1. 関係構築のためのコミュニケーション\_\_②
  - 1) 接近的コミュニケーションの原理
  - 2) 接近的行動の前提となる基本的な態度
  - 3) 接近的行動と非接近的行動
  - 4) 接近的コミュニケーションの成立
  2. ロールプレイング
5. 1. 効果的なコミュニケーションの技法\_\_①
  - 1) 傾聴
  - 2) 情報収集
  - 3) 説明
  - 4) アサーティブネス
  2. ロールプレイング
6. 1. 効果的なコミュニケーションの技法\_\_②
  - 1) 傾聴
  - 2) 情報収集
  - 3) 説明
  - 4) アサーティブネス
  2. ロールプレイング
7. 1. コミュニケーション障がいがある人への対応\_\_①
  - 1) コミュニケーションに障がいのある人の特徴
  - 2) 言語的コミュニケーションに必要な身体機能
  - 3) コミュニケーション障がいがある人への対応
  2. ロールプレイング
8. 1. コミュニケーション障がいがある人への対応\_\_②
  - 1) コミュニケーションに障がいのある人の特徴
  - 2) 言語的コミュニケーションに必要な身体機能
  - 3) コミュニケーション障がいがある人への対応
  2. ロールプレイング
  3. まとめ  
授業評価アンケート

#### 【成績評価方法】

- ・課題レポートやロールプレイングの取り組み(100%)で総合的に評価する。課題の取り組み内容が6割に満たない場合は、再提出を課す。
- ・評価の視点は、初回授業時に提示する。
- ・提示された課題に取り組んでいない場合、減点対象となる。
- ・総授業時間2/3以上の出席者を評価対象とする。

#### 【教科書】

1. 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1] 看護学概論，医学書院，2022.

【参考書、教材等】

1. 宮脇美保子編：新体系看護学全書 基礎看護学[1] 看護学概論，メヂカルフレンド社.
2. 松木光子編著：看護学概論，ヌーベルヒロカワ.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。